調布70周年 Chofu 70th Anniversary

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
調布市は「２０５０年ゼロカーボンシティ」を目指しています

ゼロサイクル

令和8年 3月20日発行 第101号
バックナンバーは下記QRコードからご覧いただけます。

発行／ 調布市環境部資源循環推進課　〒182-0031 調布市野水2-1-1 クリーンセンター
TEL：042-306-8781　FAX：042-368-9921　E-mail：gomitai@city.chofu.lg.jp

バックナンバー

事業所による3Rの取組
キユーピー株式会社を紹介します。

kewpie

キユーピー株式会社は1919年創業の食品メーカーで、マヨネーズ、ドレッシングなどの調味料を製造し、国内トップシェアを誇っています。2025年には、キユーピーマヨネーズ発売100周年を迎えました。調布市には、キユーピーグループ各社が入居する「仙川キユーポート」や、マヨネーズについて楽しく学べる見学施設「マヨテラス」があり、大変親しまれています。

2025年度からは「キユーピーグループ 環境ビジョン2050」を策定し、持続可能な社会の実現を目指しています。また、サステナビリティ目標として、「資源の有効活用・循環」を重点課題に掲げ、「食品ロスの削減・有効活用」、「プラスチックの削減・再利用」などをテーマに、3Rの推進に取り組んでいます。

キユーピー公式HP



仙川キユーポート

1 食品ロスの削減・有効活用

①賞味期限の延長

マヨネーズの主成分である油は、酸素に触れると味が落ちてしまうため、酸化を防ぎ、賞味期限を長くする努力を発売以来長年取り組んできました。

酸化対策
❶ヘッドスペースを酸素から窒素に
❷多層ボトル
❸出し口にアルミシールを採用



②食品残さでバイオガス発電

マヨネーズの別商品への切り替え時に、配管から排出されるマヨネーズなどを、バイオガス発電※に活用しています。



※家畜の排泄物と食品残さを混合してメタン発酵後、生成されたバイオガスを利用して発電する仕組み。

③廃食材の活用

製造過程で割れてしまった卵を社員食堂で提供したり、社員食堂で出た廃油を集めて石鹸にアップサイクルし、社内で使用しています。



④「とっておきレシピ」サイトで、野菜の未利用部活用レシピを紹介

2 プラスチックの削減・再利用

プラスチックの使用量が少なく、再利用しやすい商品の研究を仙川キユーポートで行っています。

①キャップの軽量化

マヨネーズのキャップを5.2gから4.3gまで軽量化しました。700gのマヨネーズキャップで順次切替えを開始。年間約3.4トンのプラスチック削減に繋げています。



●高さを3.9mm低くし、凸凹部分を上部のみにして肉薄化

●出し口が低くてもマヨネーズが垂れないよう、出し口の位置を中心から手前に移動

②紙パックのドレッシング容器の開発

1000mℓのドレッシング容器に紙パックを採用し、プラスチック使用量を約75%削減しています。

●使用後は小さく折りたたむことができ、ごみの容積が減らせます。



3 仙川キユーポートでの取り組み

①マヨネーズ・ドレッシングの容器回収

資源回収BOX

従業員入り口横に、社内向けの容器回収BOXを設置しています。



②パントリーでのごみ分別

ペットボトルと容器包装プラスチックのごみ箱を透明にすることで、従業員が意識してきれいに洗ってから捨てるようになりました。



③卵殻のアップサイクル

エントランスの机に、食品製造過程で発生する卵殻をアップサイクルした天板を使用しています。



社員さんから一言



経営推進本部 総務部
望月 康次さん

キユーピー仙川キユーポートは地域の一員として、従業員と共にサステナブルな未来を目指しています。着実な資源循環やCO2削減を実践し、豊かな地球環境を次世代へつなぐため、日々の歩みを止めることなく取り組みます。

容器開発担当者として、未来を想う挑戦を続けています。調布から新しい価値を発信し、10年後も20年後も、笑顔で溢れる未来を目指して全力で取り組んでまいります！

研究開発本部
守矢 大介さん



要事前予約



見学施設「マヨテラス」

詳しくは右記QRから▶

！小型充電式電池は有害ごみ

適切でない分別により、収集車両や処理施設で火災が頻発しています。小型充電式電池やスプレー缶・ライター類、電池が取り外せない小型家電は、「有害ごみ」としてお出しください。

小型充電式電池って？

充電して繰り返し使える軽量な電池で、スマートフォンやモバイルバッテリーなど、様々な製品に使われています。

下記のマークが主な目印

※下記マークがない製品も「有害ごみ」

Li-ion　Ni-Cd　Ni-MH



消火活動の様子

「調布ごみナビ」で大掃除！

ごみ収集日の通知サービスは市HPから

品目名の入力・写真送信で、AIがごみの分別をナビ（案内）します！

最寄りの収集袋取扱店・おむつ袋配布場所などを案内します！

多言語による案内ができます！（13か国語）

詳しいご案内は調布ごみナビから！

このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。↗

飲み終わったびん どこへ行く？

調布市のびんのリサイクルの流れ

市内のご家庭から出され
収集されたびんはクリーン
若林商店(青梅市)に運ばれ
色ごとの分別作業が行われ
れたびんは、豊島硝子株式
島県)に搬送され、再生原料

収集 → クリーンセンター

大型車両への積み替え

豊島硝子での作業工程

① 搬　入

工場に到着したびんは、状態を確認し、リサイクルに適さない異物が混ざっていないかをチェックします。



② 洗　浄

びんに付着した汚れや中身の残りを洗い落とします。



③ 選別・除去

STEP1 磁力選別

鉄製のキャップや金属片を取り除きます。



STEP2 風力選別

軽いプラスチックや紙くずなどを除去します。見た目で分かりにくい異物も、ここで取り除かれます。



STEP3 アルミ除去

アルミ製のキャップや部品は、専用の装置で分別されます。



STEP4 手選別(検品)

最後は、作業員が一つ一つ目で確認し、機械では取り切れない異物を除去します。



ごみ収集車 収集員さん ごみ減量・啓発ポスターの展示



毎年、市内の小中学生からたくさんのご応募をいただいている「ごみ減量啓発ポスター」。その中で、ごみ収集車や収集員さんが描かれたポスターは、市内の家庭ごみを収集している(株)調布清掃と(株)吉野清掃の事業所内に1年を通じて掲示しています。

(株)調布清掃





(株)吉野清掃







松田さんから一言 来客用の部屋の前に掲示しています。お客様もよく目にする場所なので、「小中学生が描いてくれたんだ、素敵な取組ですね」など、お声がけいただくことも多いです。お子さんならではの発想が面白いですし、日々の業務に対する収集員のモチベーションアップにも繋がっています。

市川さんから一言 昨年度から新しくなった作業着が描かれたポスターもあり、よく見てくれているなと嬉しくなりました。受付横の毎日目にする場所に掲示しており、現場の作業員はもちろん、社員一同大変嬉しく思っています。見る度に「今日も頑張ろう！」と思えますし、日々の業務の励みになっています。



↖このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。

る飲み物や調味料、化粧品などのびん。
ンセンター（市内）に集められ、株式会社
います。ここでは、リユースびんの選別や、
れます。リユースびん以外の5色に選別さ
会社の松戸工場（千葉県）と天栄工場（福
料「カレット」へと生まれ変わります。




緑・青・黒色


茶・無色

若林商店

リユースびんの選別と、色ごとの仕分け

4 カレット化（製品化）

こうして選別されたびんは「カレット」と呼ばれる再生原料になります。カレットは、新しいガラスびんのほか、グラスウールや建材など、様々な製品に生まれ変わります。


無色カレット　茶色カレット

出典：ガラスびん3R促進協議会

豊島硝子

資源として再生され、新しい製品へ

ワンウェイびん 家庭向けの使いきりびん。使用後、再び溶かして新しいガラスびんなどに生まれ変わります。

各メーカー・ボトラー

リユースびん 回収後、中と外を綺麗に洗浄し、繰り返し使用するびん。ワンウェイびんよりも環境負荷が低いことが特徴。


常務取締役　カレット事業部部長 兼 二本松支店長　天栄工場 工場長

菅澤さん、大武さん、矢部さんのお話をききました！

INTERVIEW

Q1 日々の作業で、特に気を付けていることはなんですか

異物の混入がないかをしっかり確認することです。ガラスびんの中に、金属などが残っていると後の行程に影響が出てしまいます。安全面と品質の両方に配慮しながら、丁寧な作業を心がけています。

Q2 市民の皆さんの分別で、特に助かっている点を教えてください。

排出前にすすいでいただいたりキャップを分けていただくことで工場での作業がとてもスムーズになります。日々のご協力をありがたく感じています。

Q3 やりがいを感じるのはどんなときですか

ガラスびんが、きれいなカレットとして生まれ変わるのを見ると、自分たちの仕事が資源循環の一端を担っていると実感でき、やりがいを感じます。

Q4 最後に市民の皆さんに一言お願いします。

皆さんが分別して出してくださったガラスびんは、大切な資源として再利用されています。日々の分別が、環境を守ることにつながっていきますので、今後も引き続きご協力をお願いします。

調布市クリーンセンターで 家庭用廃食用油の回収を始めました

飛行機の航空燃料（SAF）等にリサイクルしています。

受付時間　平日 午前9時～午後5時 ※土日、祝日及び年末年始を除く。

受付方法　回収希望日の2日前（土日、祝日及び年末年始を除く）までに、電話にて事前予約後、持ち込みください。

詳しくは、右記（二次元コード）をご確認ください。

令和8年度版 ごみリサイクルカレンダーは届きましたか？



令和8年4月以降のごみの収集日や出し方を掲載したごみリサイクルカレンダーを、1月上旬から2月上旬までに全戸配布しました。まだ届いていない場合は、●下記に配布依頼のご連絡をいただくか、●お近くの公共施設（右記）にてお受け取りください。

※配布後、紛失した又は余分に必要とされる場合の再配布は致しかねます。
※5月1日以降の配布依頼はお受け致しかねますので、ご注意ください。

3月中の問合わせ先

入間町・国領町・菊野台・飛田給・上石原・下石原・富士見町・野水・西町・布田・小島町・調布ケ丘にお住まいの方	調布市福祉作業所等連絡会 042-481-3201（土・日・祝を除く午前9時～午後5時） 担当 斉藤
仙川町・緑ケ丘・若葉町・西つつじケ丘・東つつじケ丘・深大寺元町・深大寺北町・深大寺東町・深大寺南町・多摩川・佐須町・柴崎・八雲台・染地 にお住まいの方	株式会社 小平広告 042-300-3131（土・日・祝を除く午前9時～午後5時） 担当 小川

4月中の問合わせ先 資源循環係 042-306-8200（土・日・祝を除く午前8時30分～午後5時15分）



このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。



出前講座の取組



市では生涯学習活動支援の一環として、市民の皆さんが主催する学習会などの集会に職員などが出向き、各部署の事業のご案内や、専門知識をいかしたお話をしています。資源循環推進課でも、ごみ減量や分別、リサイクルについて出前講座を行っており、自治会や保育園など多くの団体からお申込みをいただいています。

今回は、子ども向け出前講座の様子をご紹介します。

環境教育・環境学習の一環として、市内の保育園や幼稚園、小学校、児童館などに出向き、ごみのお勉強やゲーム、ごみ収集車への疑似ごみの投入れ・乗車を体験していただいています。実際に、市内のごみを収集する収集員さんにお話しを聞くこともできます。



●分別やリサイクル ●海洋プラスッチクごみ ●食品ロス　などをお勉強

ごみのお話



リサイクルゲーム



疑似ごみの投入れ



乗車体験



収集員さんへの質問コーナー



収集車をダンプアップ！



荷箱内の様子も見ることができます

保育園にごみを収集に行くと、手を振ってくれたり話しかけてくれたりと、子どもたちとは日頃から交流があるんです。そんな子どもたちと実際に触れあえる出前講座は、収集員にとっても非常に楽しい時間です。子どもならではの思いもよらない質問を受けることもあり、私たちが気づかされることも多く、学びのある時間となっています。

(株)調布清掃 井手課長



問合わせ　資源循環推進課　☎042-306-8781

申込み先　文化生涯学習課　☎042-481-7139



令和８年度生ごみたい肥化容器等購入費補助制度

市では、生ごみ減量化の推進・生活環境の保全を図ることを目的として、ご家庭で生ごみ処理機やコンポストなどを購入する方に対して、購入費の一部を補助する制度を実施しています。

令和８年度分は４月から受付を開始します。予算に限りがあるので、購入前に資源循環推進課までご連絡ください。

詳細は、ごみリサイクルカレンダー27ページまたは右記HPをご確認ください。

資源循環推進課 企画係　☎042-306-8781

市HP



↖このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
調布市は「２０５０年ゼロカーボンシティ」を目指しています

ザ・リサイクル『ジュニア』

6号
令和８年
4月発行

R70
古紙配合率70％再生紙を使用しています

発行／ 調布市環境部資源循環推進課　〒182-0031 調布市野水2-1-1 クリーンセンター
TEL：042-306-8781　FAX：042-368-9921

ごみ収集員さんの1日



市内のご家庭から日々排出されるごみを、いつ・だれが・どのように集めているか知っていますか？今回は、株式会社調布清掃の収集員さんの一日に密着し、私たちの暮らしを支えるごみ収集の裏側を紹介します✌

業務開始

さあ、一日の始まりです！安全に仕事を進めるために、体調や車を毎日欠かさず点検します

7:30~ 出勤・体調確認・車両点検







収集員さんの歩数



7:40~ 班ごと朝礼

3つの班ごとに、責任者がその日の注意事項等、大切な内容をお知らせします。



7:50~ いざ出発！

36台の収集車が一斉に出発します！



収集業務　午前の業務

8:00~ 午前の収集開始

ごみを出すのは朝8時まで！



2人1組で、安全に注意しながら効率よく収集します。

熱中症対策

毎日2ℓの水分を補給します

夏場の収集は暑く、とても危険です。スポーツドリンクが配られ、11時と14時にみんなで一斉に水分補給をします。





ごみが多い日は、焼却施設へ3回も運ぶこともあります。



12:00~13:00 昼休憩

会社に戻り、食堂で昼食をとります。休憩室があり、仮眠をとる人も。

不定期に「気まぐれ食堂」が開催され、その日はいつもよりも社員のやる気が高いです！(笑)



20600歩

裏面へ

収集業務　午後の業務

13:00~
昼礼



全員で午前の収集状況を確認し、速やかに問題を解決します。

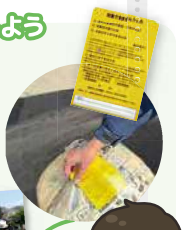
13:05~
午後の収集開始



ちゃんと分別しよう

イエローカード

分別が正しくないごみにはイエローカードを貼って残します。





危険物が混ざると車両火災も発生します

21600 歩

清掃事務所へ

14：30 ～ 15：30頃　担当エリアの収集が終わったら，本社に戻ります

15:30~
車両の洗浄・清掃



車庫に戻ったら、車両の内側を洗います。1台あたり5分程かかりますが、かわいい相棒(車)がきれいに走れるように、丁寧に洗います。車両の外側や車内もピカピカにします。

15:50~
終業点呼



次の日も安心して働けるように、再び体調をチェック！工事をしていた場所など、収集時に得た新しい情報を皆と共有します。

16:10~
報告作業



日報の作成や、イエローカードを貼った場所の報告など、仕事の整理を行います。

16:30~
退勤



次の日のために早く帰ってお休みします。



約30000 歩（約21km/日）達成！

ごみの収集員さんにインタビュー



収集員の一日がわかったかな？
毎日収集するので、担当する地域の方とは自然と顔なじみになるんだよ。小さな子どものいるお家や、犬の散歩をしている方が声をかけてくれることもあったりして、責任と誇りを持って仕事ができているよ！
特に、収集車は子どもたちにすごく人気があって、保育園の子どもたちが楽しみに待っていてくれていると、ついついカッコつけたくなります（笑）
大変なこともたくさんありますが、これからもみんなが気持ちよく暮らせるように、みんなでお仕事をがんばります！応援してね！！

市民から感謝の手紙

～収集員さんも大助かり!?～いま、わたしたちにできること

収集中一番重いごみは・・・生ごみなんです



食品ロス(※)を減らせば軽くなる！

※まだ食べられるのに捨てられてしまう食べもの

市内で出される生ごみの1/3は食品ロスって知っていますか?ムダを無くして、収集員さんを助けよう！！

❶ 余計な食べ物を買わない／すぐ食べるものは「手前」から取る
❷ 消費期限・賞味期限を知り、残っている食材から使う
❸ 料理する際は調理くずを減らす／残った料理をアレンジする
❹ 食べきれる分を用意し、残さず食べる





ザ・リサイクルジュニア第5号